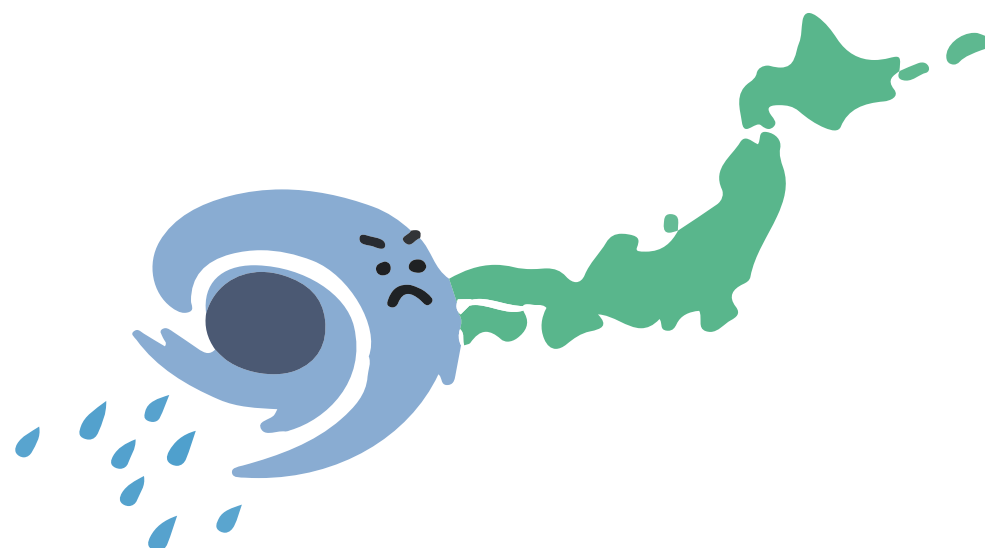


台風や豪雨が発生したときの災害に備えましょう

夏(7月ごろ)から秋(10月ごろ)にかけては、台風が日本に接近しやすい季節です。

台風や大雨による被害をできるだけ少なくするために、日頃からしっかりと風水害に備えておきましょう。



平常時の備え

非常食・飲料水をたくわえる	非常食・飲料水をたくわえる。 最低でも3日間分(できれば1週間分)の非常食・飲料水をたくわえる。 ※飲料水は1人1日3リットルが目安です。
避難先・避難経路を確認	ハザードマップなどで自分の家の周りの危ない場所を確認し、逃げる場所と、逃げる道を確認する。

台風が近づいた時の備え

防災情報の収集	インターネットなどで防災・気象情報を収集する。
非常持出し品の整理	貴重品、非常食、飲料水、救急用品、衣類、タオル、洗面用具などを非常用持出しバッグに入れて整理する。
貴重品などの保管	貴重品などは、高い場所に移動させる。
雨戸・シャッターを閉める	雨戸やシャッターを閉め、窓にかぎをかける。 室内のカーテンを閉め、ガラスが割れたときに飛び散らないようにする。
家電製品などの充電	通信機器(スマートフォンなど)や家電製品などの、充電可能なものは、台風が近づくと前に充電しておく。
水の確保	浴槽やペットボトルにできるだけ水を貯めておく。